

北海道観光の振興に向けた協働の取組

～ 道・北海道観光振興機構・日本政策投資銀行・北洋銀行・北海道銀行による協力連携協定 ～

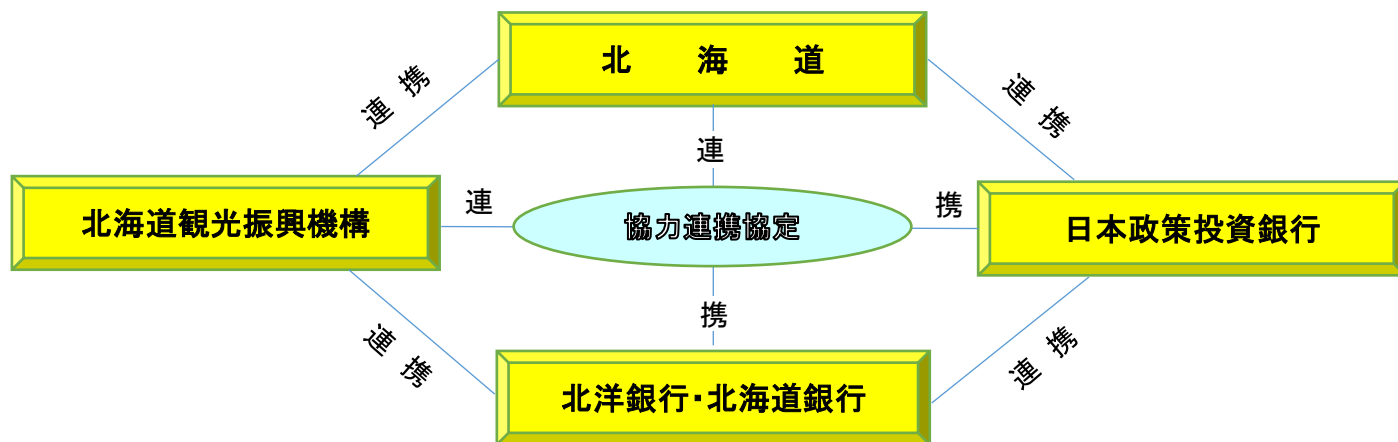
観光地域づくりの舵取り役となるDMOの形成・確立の促進

- ◆北海道は、平成27年度に訪日外国人来道者が208万人となり、観光入込客数全体でも、5,477万人と過去最高を記録するなど、観光客が伸びており、訪日外国人来道者の目標値を2020年までに300万人から500万人へと引き上げたところ。
- ◆一方で、急増する外国人旅行者など受入体制の整備や、閑散期と繁忙期の季節偏在、道央圏に観光客が集中する地域偏在の解消などが課題となっている。
- ◆こうした課題に対応するには、本道の強みである食や自然景観だけでなく、地域資源を生かした魅力的な観光プログラムの開発・磨き上げなどを通じて、観光を地域の総合産業として「稼ぐ観光」を確立するため、市町村や観光協会のほか、金融機関など多様な関係者との連携・協力が重要である。
- ◆このため、道、北海道観光振興機構(北海道版DMO※)と金融機関が協力連携し、観光地域づくりの核となるDMOの形成・確立を図り、北海道観光の振興に向けて取り組んでいく必要がある。

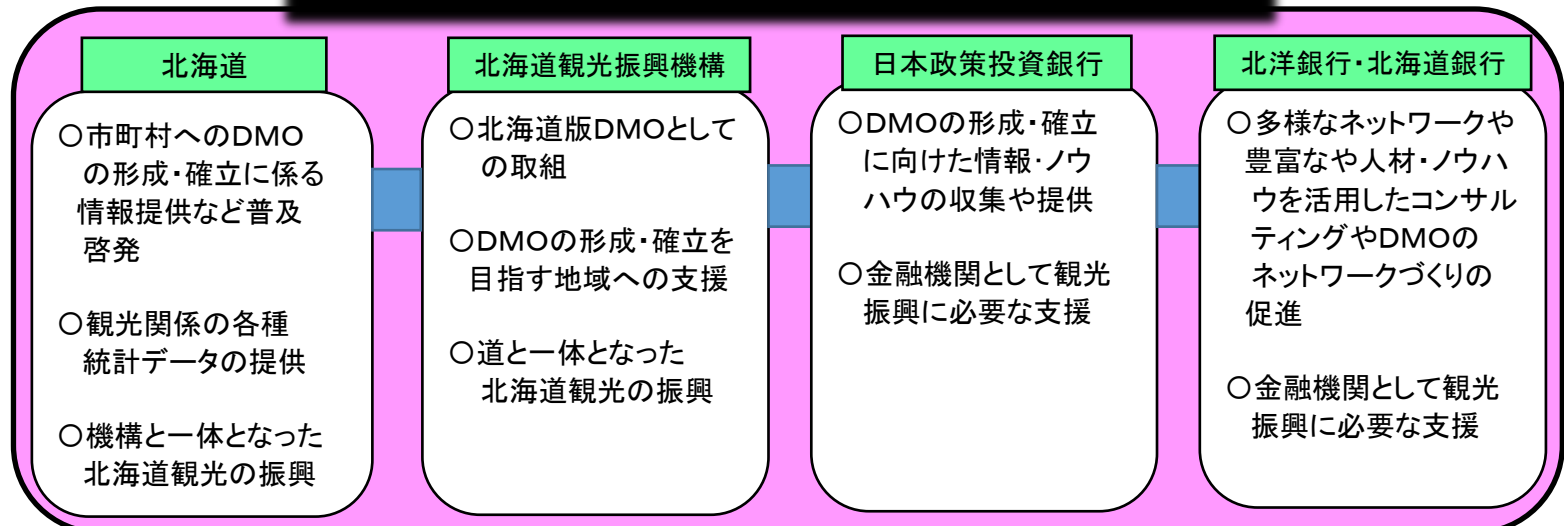
※「北海道版DMO」とは、北海道一円を対象区域として、北海道観光の舵取り役として、中核的な役割を担い、地域の稼ぐ力を引き出すため、DMOなどを支援する組織

協定概要

北海道、北海道観光振興機構(北海道版DMO)、日本政策投資銀行、北洋銀行、北海道銀行の5者が協力・連携し、北海道観光の振興に向け、観光地域づくりの舵取り役となるDMOの形成・確立などにより地域の「稼ぐ力」を引き出すため、それぞれが持つノウハウや支援策などを活用した協働の取組を進める。



役割分担



■ 連携した機関の総合支援による北海道観光の振興 ■